

つうしん
筑南小学校「うちどく」通信 2025.5月号

1年 S・H 『100年たったら』 絵本美術館の本 読んだ人：お母さん 聞いた人：H

H：らいおんとうぐいすが、すうひゃくねんたって、しょうがっこうでまたあえてよかったです。

お母さん：ウグイスの死によりライオンと別れが来る場面は悲しみにあふれていましたが、転生後色々なところで2人はそばにすることができました。形を変えながらも愛するもののそばにいつまでもいられたらうれしいなと思います。

1年 M・R 『なかまがいれば』 Eあ あいはらひろゆき/さく 岩崎書店 読んだ人：お母さん 聞いた人：R

R：てつぼうができなくてかわいそうだった。でもできたよ。

お母さん：さかあがりができなくてあきらめていたけど、なかまが応援してくれて、一緒に練習してがんばってできたので、仲間の力はすごいなと思いました。

2年 K・H 『おおかみこどもの雨と雪』 Eほ 細田守/原作 角川書店 読んだ人：H 聞いた人：お父さん

H：雨と雪がけんかをするシーンが、わたしの家でお兄ちゃんとわたしがけんかをしているみたいでおもしろかったです。

お父さん：おおかみと人間の間に産まれた雨と雪という子どもの話です。雨はおおかみの世界に、雪は人間の世界で生きていくことを決めて、雨は母親から巣立っていきました。自分の子ども達もそのうち親から巣立っていくと思うとさみしくなりました。

2年 M・I 『へんしんレストラン』 Eあ あきやまだし/作 金の星社 読んだ人：I 聞いた人：お母さん

I：いろいろなことばがへんしんしておもしろかったです。

お母さん：どんなことばにへんしんするのか考えながらたのしく読むことができました。一人で読むより楽しそうでだんだん声が大きくなっていきました。

3年 M・N 『バムとケロのそらのたび』 Eし しまだゆか/作 文溪堂

読んだ人：N 聞いた人：お母さん

N：いろんなむしやたまねぎさんみゃくがあつてすごかったです。きゅうけつこうもりのところをとおるときケチャップのかけかたがすごくて、わたしがやったならかおにつくかもと思いました。

お母さん：おじいちゃんから届いた荷物の中身は組み立て式の飛行機に乗って冒険するバムとケロのお話でした。トラブルクリアしながらのとても楽しい本でした。

3年 S・T 『ちびまる子ちゃんのはじめてのクッキングえほん うれしい！おかし・デザート』

59サ さくらももこ/原作 大森いくこ/料理 金の星社 読んだ人：T 聞いた人：妹・お母さん

T：グミは、れもんじるとグラニュー糖をつかってできることがわかりました。

お母さん：本を参考にグミを作りました。手軽でおいしくできて楽しかったです。

4年 T・Y 『教室はまちがうところだ』 Eま 蒔田晋治/作 子どもの未来社

読んだ人：Y 聞いた人：お父さん

Y：さいしょ、まちがいは悪いことと思っていたけど、この本を読んでまちがいは悪いことじゃないことがわかりました。

お父さん：人の数だけ答えがあつて、間違いを恐れずに発表をしていこうと話しました。そして人の意見をしっかり聞けるようにしてほしいです。

提出数（欠席）/人数	1年	11/11	☆GOOD☆	2年	17/17	☆GOOD☆		
	3年	11/14	4年	17（1）/18	☆GOOD☆	5年	12/12	☆GOOD☆
	6年	19/19	☆GOOD☆	合計	87（1）/91			



4年 O・K 『あさになったのでまどをあけますよ』 Eあ 荒井良二/作 偕成社

読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：この本の絵が絵具で書いてあったのすごいなと思いました。絵の中の世界の町の人たちがまどを開けたところがおもしろかったです。また、ジャングルにある家もあれば、海の前に家があったりすてきなあとと思いました。海が見える家だといいなあとと思いました。

お母さん：色んな景色が色あざやかに描かれていて心静かに読むことができました。どんな町にも朝がくる。「あさになったのでまどをあけますよ」という言葉でとっても優しい気持ちになりました。

5年 U・Y 「なんだろうなんだろう」 Eよ ヨシタケシンスケ/著 光村図書出版 作ブロンズ新社

読んだ人：Y 聞いた人：お母さん

Y：みんなが思っていることと、自分が思っていることはちがって、ひとりひとり自分の考え方があって、考え方はみんな人それぞれなので、他の人とくらべたりしないで自分の思うままにアレンジしてみればいいんだと思いました。

お母さん：ふとした瞬間にうかぶ12個の「なんだろう」がユーモアたっぷりに書いてある本でした。「友だち」「幸せ」「自立」「普通」など大人もうまく説明できないことを文やイラストで書いてあり、改めて考えさせられる本でした。

5年 H・S 「パンドロぼうとなぞのフランスパン」 Eし 柴田ケイコ/作 KADOKAWA

読んだ人：S 聞いた人：お母さん

S：なぞのフランスパンは、ちゅうぼうをぐちゃぐちゃにしている、朝、それをパンドロぼうが見ておどろいたところがおもしろかったです。また、なぞのフランスパンの正体が「ねこ」だったのもおもしろかったです。パンドロぼうはやさしいなあとと思いました。

お母さん：パンドロぼうを困らせようとして、パンドロぼうのお店にフランスパンに変装したネコの姿が可愛かったです。最後に町のパンやと森のパンやが仲良くパン作りをして一緒にお店を出して楽しそうだなと思いました。

6年 N・M 『走れメロス』 913タ 太宰治/原作 Gakken 読んだ人：M 聞いた人：お母さん

M：二人の友情がすばらしかったです。親友を想い走るメロスがすてきでした。何度転んでも立ち上がるメロスがかっこよかったです。

お母さん：走れメロスを久しぶりに読みました。メロスとセリヌンティウスの友情が感動的でした。メロスの誠実な人柄が親友との信頼関係につながっていて、とても憧れる人物でした。小学生向きに読みやすくしてあったので太宰治の長い物語も読んでほしいなと思いました。

6年 S・T 『あいさつ団長』 Eよ よしながこうたく/作 長崎出版 読んだ人：T 聞いた人：弟

T：あいさつの大切さが分かりました。絵の中に変な顔のバッタやモグラ、ゴリラなどがいておもしろかったです。特に花壇に水やりをしているアゲハ蝶が面白かったです。

お母さん：サムソンくんとけんかをしてしまったけど、また仲良くなってよかったなあとと思いました。